

## 2019（令和元）年度版函館市環境白書（案）への

### 事前意見に対する回答

NO	意見内容	回答部課	頁
<b>1</b>	<b>【三上委員】</b>		
①	ボランティア清掃について	清掃事業課	1
②	市民アンケートの掲載方法について	環境総務課	2
<b>2</b>	<b>【笠井委員】</b>		
①	絶滅危惧種等の情報について	環境総務課	3
②	小田島川の水質改善について	環境総務課	4
③	函館公園でのイベントについて	環境総務課	5
④	ボランティア清掃について	清掃事業課	6



白書 頁	P 4 1	回答部課	清掃事業課
No.1-①	<p>市民にとっても、観光都市としての対面においても、ごみの散乱の問題は大きいと思います。表 3-50 ですが、ごみの回収実績が下がっています。これは、ごみが減ったからでしょうか？それともボランティアの総量（時間×人数）の方が減ったからでしょうか？数値の意味を考える上でも重要だと思います。分かれば良いのでお教えてください。</p>		

- ボランティア清掃につきましては、毎年、4月と10月を清掃美化運動月間に位置付けており、各々の月の第3日曜日を全市一斉清掃日（きれいな街づくり強調日）として集中的に清掃美化活動を実施しているところであります。
- 全市一斉清掃の実施にあたっては、事前に町会やボランティア団体等に実施案内を差し上げて、清掃場所・ごみ集積場所・参加人数・実施時間等を申し込んでいただき、収集車両の手配や収集径路を計画するものであります。
- また、全市一斉清掃日の収集実績が、当該月のボランティア清掃収集実績の9割程を占めており、環境美化実践活動には欠かせない事業となっております。
- 平成30年度回収実績が急減したのは、4月に実施しました全市一斉清掃日が悪天候により、活動を中止した団体が多かったためと考えております。
- したがいまして、例年通りに実施されていた場合は、前年度実績を上回らない程度の回収実績になったと予想するところでございます。

白書 頁	P 6 6	回答部課	環境総務課
No.1-②	<p>この部分、そもそも何をしたかが良くわかりません。任意記述方式で、「重要であると思うこと」を書いてもらったというようなことでしょうか？調査方法にもよりますが、結果を羅列するだけのほうが、かえってわかりやすいかもしれませんので、ご一考ください。</p>		

○ P 6 6 の本文を以下とおリ変更します。

今回のアンケートでは環境目標項目以外にも下記の項目について、選択肢を設定し該当するものについて選択してもらいました。

それぞれの項目において特に多く選ばれたものは次のとおりとなっています。

■将来の函館の環境に関する重要性

「空気のきれいさ」，「水のきれいさ」，「海洋ごみ問題」

■函館の将来のよりよい環境のために大切な取り組み

「良好な大気，水，土壌，音環境（静けさ）の確保」，「温暖化の防止など地球環境の保全」，  
「自然や文化等地域特性を活かした町並みや環境美化の推進による優れた都市景観」

■普段の生活の中で環境をよくするために心がけていること

「ポイ捨てはせず，ごみは持ち帰っている」，「油や食べかす等を排水溝に流さないようにしている」

■環境をよくするために事業者に期待すること

「大気，水，騒音などの公害対策や，有害物質の発生抑制」，「廃棄物の減量（発生抑制，再使用，リサイクル）や分別，適正処理」

■環境をよくするために行政に期待すること

「大気，水，騒音等の公害対策や，有害物質に関する取り組み」，「ごみのポイ捨てや不法投棄に関する取り組み」

さらに，環境基本条例，環境基本計画，SDG s の認知度に関する調査も行いましたが，いずれもあまり認知されておらず，市の環境施策に関する情報については，ほとんどが「市政はこたてや環境部ニュース等」，「新聞」，「一般のテレビやラジオ」から入手する人が多いという結果でした。また，自由意見として，環境に関する分野では，「ごみの散乱」，「公園」，「河川」，「道路」に関するものが多く寄せられました。

2019（令和元）年度版 函館市環境白書（案）への事前意見に対する回答

白書 頁	P 1 1	回答部課	環境総務課
No. 2 -①	<p>生物多様性</p> <p>環境省指定の絶滅危惧種についての情報が載っていますが、これはいつ頃（何年）のデータまたは情報でしょうか？</p> <p>また、外来種についての情報はありますか？</p>		

- 絶滅危惧種につきましては、平成18年に実施された「函館圏都市計画道路1・4・3新外環状線環境影響評価書（要約書）」に基づいているほか、本審議会委員の方から情報提供のあったものについても追加して掲載しています。
  
- 外来種につきましては、P35に五稜郭公園の堀に生息する特定外来種であるブルーギルについて掲載しているところですが、外来種の情報につきましては、北海道において、道内の外来種を掲載した「北海道ブルーリスト」を作成しており、その中で、本市において確認されている外来種の一覧も掲載されています。

白書 頁	P 3 7	回答部課	環境総務課
No. 2-②	<p>河川整備の状況</p> <p>小田島川も護岸整備しているようですが、その一方でP22にもある通りこの川は水質がずいぶん悪いようです。私の職場の横を流れている川なので、よくわかります。</p> <p>護岸を整備して遊水地を作っても、水質が悪ければだれも利用しないのでは？</p> <p>つまり、護岸整備よりも水質を改善する施策をとる方が先なのではないでしょうか。</p>		

- 小田島川につきましては、河川の氾濫・溢水による被害を未然に防止するため、昭和51年度から河口部より河川改修事業を進め、大谷地都市下水路合流点付近までを平成6年度で完了し、さらに上流部の亀田港町、昭和町地区で大雨のたびに水害が発生していることから、平成7年度から遊水地の併用による河川改修事業を進めているところです。
- なお、遊水地とは、大雨時に河川流水を貯留し洪水調整機能を有する施設であり、水と親しむ施設としての利用は想定していないものです。
- この河川は、現在においても一部の生活排水が流入しており、上流から流れてくる湧水等の水量も少ないことから、水質も良い状態とはいえない状況であります。
- 現状では、家屋の取り壊しや改築の計画があるなどの理由から下水道に接続していない未水洗世帯も残っておりますので、水洗化促進の活動を継続して行い、水洗化率の向上に努めてまいります。

白書 頁	P 3 8	回答部課	環境総務課
No. 2-③	<p>都市公園</p> <p>この白書には書かれていませんが、今年の7月に函館公園の水を抜いて掃除をしたり、生き物を観察したりするというイベントがあったようですね。</p> <p><a href="https://www.htb.co.jp/news/archives_5124.html">https://www.htb.co.jp/news/archives_5124.html</a></p> <p>上の記事によれば、見つかった生き物は外来種がほとんどで、しかもそれを池に戻したとのことでした。</p> <p>私は、この行いを、たいへん危惧しています。</p> <p>市が率先して外来種を放つなど、信じられません。</p> <p>しかもそれを、子供たちの前で行うとは、いったいどのような考えをお持ちでしょうか。</p> <p>詳しい説明を求めます。</p>		

- イベントを主催した市立函館博物館に確認したところ、該当するイベントは、博物館講座「池の中を見てみよう」という講座で、函館公園を管理する函館市住宅都市施設公社が2年に一度行う池の清掃にあわせて行ったもので、外来種を駆除することが目的ではなく、小学生に池にはどのような生物が生息しているかを実際に触れて観察することを目的としたものでございます。
- 池の中の生物のほとんどが外来種であったため、渡島総合振興局環境生活課もオブザーバーとして参加した中で、なぜ外来種がこの池にいたのかということ、むやみにこのような池には放さないこと、池から持ち帰らないことなどを参加者に説明したところでした。
- 清掃後の外来種の扱いにつきましては、関係者間で協議のうえ、人工池であり、近隣の生態系に大きな影響をあたえないこと、また、生き物ということで再び池に戻したということです。
- また、現在、この池にいる外来種の今後の取り扱いについては、関係者間で協議をしていくことにしているとのことです。

白書 頁	P 4 1	回答部課	清掃事業課
No. 2 -④	<p>30年度は回収実績が急減しています。                      これは、ごみ自体が少なくなったのか、それとも回収作業（努力量）が減ったのか、どちらでしょうか。                      それとも、何か他の原因がありますか？</p>		

- ボランティア清掃につきましては、毎年、4月と10月を清掃美化運動月間に位置付けており、各々の月の第3日曜日を全市一斉清掃日（きれいな街づくり強調日）として集中的に清掃美化活動を実施しているところであります。
- 全市一斉清掃の実施にあたっては、事前に町会やボランティア団体等を実施案内を差し上げて、清掃場所・ごみ集積場所・参加人数・実施時間等を申し込んでいただき、収集車両の手配や収集径路を計画するものであります。
- また、全市一斉清掃日の収集実績が、当該月のボランティア清掃収集実績の9割程を占めており、環境美化実践活動には欠かせない事業となっております。
- 平成30年度回収実績が急減したのは、4月に実施しました全市一斉清掃日が悪天候により、活動を中止した団体が多かったためと考えております。
- したがって、例年通りに実施されていた場合は、前年度実績を上回らない程度の回収実績になったと予想するところがございます。